

第1回広域観光連携会議 幹事会 会議録

日時：平成30年3月23日

14:00～

会場：糸魚川市役所 201・202 会議室

1、開会挨拶

〈交流観光課〉

2、報告

(1) 平成29年度事業の実施状況について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・北アルプス方面行きシャトルバスの利用実績については、運行期間が3月26日までなのでまだもらっていない。総会までには資料に明確な人数を記載したい。

〈委員〉

- ・支出の部で、広告宣伝と広域旅行商品の販売促進の決算額が0円な理由と、カーゴトラック&トレインの予算額と決算額の差の理由を教えてください。

〈事務局〉

- ・広告宣伝については、この項目を残すために項目出しという形で、予算額1000円を計上しているが、支出の方も無かった。
- ・広域旅行商品の販売促進については、各市町村において独自に旅行商品等を造成してもらうことを目的に設けた事業。独自に造成するために補助をする、という形で考えているが、今年度は各市町村から特に要望が無かったので実績は0であった。
- ・カーゴトラック&トレインは運行が1本しかなく、それに対する運行補助が1回5万8千円ほどで、残りはPRするためのチラシを制作した。サイクルトレインの利用実績が多かったためとも思うが、こちらが予定していた実績より少なく、PRなどのやり方に課題が残った。

3、審議事項

(1) 平成30年度事業計画(案)について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・平成30年度の事業計画に関しては、新規事業というよりも平成29年度までに実施した事業をさらにブラッシュアップし、観光連携を深めるとともに交流人口の拡大に努めていきたいと思う。今ある事業をより拡充して実施していきたいというのが大きな方針である。

(2) 平成 30 年度収入支出予算 (案) について

〈事務局〉

=資料に基づき説明=

◇平成 29 年度訪日プロモーション地方連携事業について

〈委員〉

- ・冬期シャトルバス運行事業の 29 年度の実績が 11 本ということだが、27 年度と 28 年も 11 本だったのか、30 年度も同じ本数を計画しているのか知りたい。

〈事務局〉

- ・平成 27 年度と 28 年度は 11 本予定が 10 本の運行になり、29 年度は 12 本予定だったものが悪天候により 11 本になった。

〈委員〉

- ・収入の部、ビジットジャパンの補助金は糸魚川市の負担金内に含まれるのか？

〈事務局〉

- ・含まれていない。台湾からの旅行会社を招請する事業のなかでも、国の負担する分と、北アルが負担する分に分け、お互いに連携・負担をしながらひとつの事業をやるものなので、補助金としてこちらがいただくものではない。今回は白馬村観光局が請け負っているが、観光局から運輸局と北アルにそれぞれ請求をしている。

〈委員〉

- ・650 万円の事業ということで理解した。

〈委員〉 15 万円×6 市町村の旅行商品販売促進事業の負担金は、1 ツアーにつき 15 万円を負担していただけるという解釈でいいか？

〈事務局〉

- ・規模などにもよると思うが、できればひとつのものに 15 万円というよりかは、“5 万円で 3 本” など、小分けでいくつもの商品を作成してもらった方がいい。

〈委員〉

- ・毎年結構な額が繰り越されているが、このあたりも含めてまた全体的な見直しなどは考えているのか？

〈事務局〉

- ・平成 29 年度で 5 年が経過し、来年度以降新たな展開を進めていかなければいけない。
- ・来年度 1 年をかけて、事業の見直しやあり方を協議していくつもりでいる。

4、その他

〈事務局〉

- ・総会は5月15日(火)16:00～、場所はヒスイ王国館を予定している。案内は後日別途ご案内させていただくのでご協力よろしくお願ひしたい。

5、閉会挨拶

〈糸魚川市観光協会〉

(14 : 50 終了)